

B. 技術優位性のPRを可能に

株式会社ノブハラ 所在地：岡山 従業員60名（2025年1月時点）

- ノブハラは従来の「丸形鉄線」と比較して、強く軽い「ねじり角鉄線」と「ねじり角鉄線金網」を開発し、**その性能を客観的に評価できる試験方法等を標準化（JIS化）**した。
- 標準化により性能の信頼性が高まり、**売上げが拡大**した。また、**海外進出の足掛かり**にもなった。
- 標準化活動を通じて、**業界・ユーザー等の仲間づくり**ができ、その後の市場拡大に繋がった。

背景にあった課題

- 軽量かつ強度があっても性能の評価基準がないため品質保証の観点から顧客に受け入れられにくく、商売が広がりにくかった。

標準化が貢献した成果

- 大手ホームセンターが全店舗で販売、土木工事などの公共事業にも採用され、販売数量・売上ともに約3倍に拡大、生産が追い付かないほどに。オーストラリアやアメリカ市場への商談も始まる。

成果に寄与した戦略

- **製品特許を無償化**することで市場が拡大し、**製造方法は特許・ノウハウとして秘匿しライセンス供与**することで自社の競争優位を確保。

- ✓ 標準化の対象は特許を取得していたスクリューメッシュ®の品質、試験方法、及び表示方法
 - 市場を拡大することを優先し、保有する製品特許は無償化する一方で、製造方法及び製造装置にかかる特許やノウハウは競争力の源泉として秘匿
- ✓ 同社の特殊ダイスと加工技術がなければJISで規定した性能を満たせない
 - 製造方法はRAND条件に従ってライセンス供与し、技術提携先を増やすことで生産能力を拡大し、さらなる市場拡大を可能に

企業コメント「標準化活用をお考えの企業さまへ」

高い技術を持ちながら信頼性が認められず販売拡大に繋がらないといった課題を持つ企業は、標準化を活用すべきと考えます。**製品特許は開放しても、製造方法の特許・ノウハウを守ることで競争優位なビジネスモデルの構築が可能**です。

スクリューメッシュの写真と構造

